



放課後デイサービス
まごころライト

プール活動もあと少しです！



こんがりとした子どもたちの顔に、このひと夏で成長を感じているこの頃。季節はだんだんと秋に近づいてきました。

プール活動では、毎回プールを楽しみに来所してくれる子どもたちが多く、毎日の暑さにも負けず、子どもたちの元気いっぱいに遊ぶ声がデイに響き渡っています。水中おはじき拾いや、水中鬼ごっこ等、子どもたちは自分で遊ぶことを展開し、楽しんでいます。スタッフも子どもたちに混ざり一緒に遊びます。そんな楽しいプール活動も、あと少しです。残りわずかな時間を子どもたちやスタッフと盛り上げていけるようにしていきたいと思っています。(柴垣)



放課後デイサービス
まごころレフト

AI ロボットがやってきた

今や、マイカーにも装備されて運転支援にも導入されているこのAIスピーカー。「今日の天気は？」と問いかけると「今日は晴れで気温は38度になります」と注意を呼び掛けてくれます。時刻や童話の音声指示で話してくれるすぐれもの。

子どもたちの反応は良く、お帰りの前の童話の朗読を静かに聞いてくれています。自立に向けたスキルアップにどの様に役立つかはスタッフの勉強が欠かせませんが、今後も積極的導入に向けた努力を続けたいと思っています。(諫山)



期待される機能

- ・スケジュール応答
- ・時刻のお知らせ
- ・地震緊急時の警報

デイサービス通信

夏のe t c . . .



まごころ25周年記念『ふれあい音楽会』会場に飾った『巨大ハートのアート』制作には多くの方々の手形の協力を得て完成できました。

デイサービス利用のIさんに、そのアートに筆で手書きの文字を入れてもらいました。普段書かないような大きな文字に初めは戸惑いながらも書かれましたが、会場に飾られた自身の字を見て、「今年はとても良い記念になりました…」と感慨深く話されました。

7・8月と中学生達のボランティア体験学習が始まり、6日間一緒に賑やかに過ごしてもらいました。生徒さんからの感想～

福祉、辞典では「人々の幸せ」と載っていた。でも一人一人が思う幸せは様々で、それぞれ光り輝くマイカラーを持っていた。だから私は、一人一人の幸せに向き合うことで「人々の幸せ」に導くことができると考え、努めることができた。(今回貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。)

中部中3年 川谷菜々実



ボランティア生徒さんと楽しくゲーム！

つぶやき

宿命



若乃花・貴乃花兄弟や浅田舞・真央姉妹に代表されるように、同じスポーツを目差す場合、長子より次子の方が大成する事が多いと気づき、何故かと不思議に思っていた。

それとはレベルが違うとは言え、私も同じ体験をしていたからだ。実は私は六人兄弟の長男で、しかも上三人が年子。戦中、戦後の食糧難時代が丁度私の成長期で、栄養価など問題外。とにかく腹ペこを満たせればありがたい状態なので、満足に成長できる訳はなかった。だから上二人は小さく、三人目以降は食糧事情も良くなり長身に育った。

敗戦を迎える年の春に私は旧制中学に入り、学制改革で一宮高女と合併して一宮高校となり、私は水泳部に入って自由型で活躍したが、国体には卒業後にしか出られなかった。けれど二歳下の弟は、私より10センチも長身の上に運動神経も良く、高校二年から国体に出ていて、羨ましく思っていた。

これは食糧事情の差による結果だと自分を慰めてはいたが、著名選手たちまでがそうだとすると、幼少期に長子に反発するなどの生き方がそうさせたのだと考えていた。けれどテレビで大学教授が長子が宿った時、子宮はまだ伸縮性に乏しく窮屈に育つが、次子以降は緩くなっているのでのびやかに育ち、成人後も運動面では次子が大成する可能性が高いと話すのを聞いて、成程と納得して長年の謎がすっきり解消した。

同じスポーツで次子が上回るのは、生を受けた時からの決まり事で言えば宿命であり、嘆いても仕方なく現実を潔く受け止めるよりほかないのである。

宿命を知らずに生きるほき笑い

澤田 清敏

ケアマネジャーの目

「認知症鉄道事故」中日新聞でも取り上げられていましたが、逆転判決勝訴の後、認知症だった父親を亡くした長男は、わだかまりが残ったと。「徘徊」と「進まぬ社会の理解」。私はグループホームの勤務時に、ホームから一人で出かけて行く利用者の対応は日常的でした。どの方にも必ず理由があり、「仕事に行く」「子どもが学校から帰ってくる」「お父ちゃんが心配する」などの時には捜索になり、思いもかけない場所へ移動され、見慣れたスタッフの顔を見て安堵の表情を浮かべる。その人の過去の時代へ、だんだん幼少期へと戻っているように感じました。漠然と「徘徊」を恐れているのは社会では？自分が認知症になるかもしれない、なった時どう対応されたいか？社会問題として目を向けたい。

～知っておきたいヘルパーの知識～

連日の猛暑で夏バテと感じることはありませんか？「身体がだるい」「食欲がない」「眠れない」な不調を感じる時こそ、暑さに負けない身体づくりを目指しましょう。

4つのポイント

- ・不足しがちな水分をしっかり補給
- ・ぐっすり眠って身体を休める
- ・軽い運動をして、発汗能力を上げる
- ・栄養バランスの良い食事をとる

“夏の昼食”



夏の食材、ゴーヤにはビタミンCがたっぷり。豚肉のビタミンB1で疲労回復にぴったりな“ゴーヤとナス、豚肉の味噌炒め”を作ってみましょう。爽やかなレモン水を添えて熱中症予防にもなります。